



目 次

1. 夏季休業中のプログラム相談について	1
2. FAXコマンドの機能追加について (MSP, UXP)	1
3. 第14回九州大学大型計算機センター計算機科学研究集会講演募集	2
4. 平成8年度(後期)プログラムライブラリ開発計画募集のお知らせ	3
5. 「利用の手引・TSS編」発行のお知らせ	4

1. 夏季休業中のプログラム相談について

夏季休業中は、下記によりプログラム相談を行います。

記

- ・ 期 間 7月11日(木) ～ 9月10日(火)
- ・ 曜 日 月曜日・水曜日・金曜日
- ・ 時 間 14:40 ～ 16:10

(共同利用掛 ダイヤルイン 092-642-2305)

2. FAXコマンドの機能追加について (MSP, UXP)

7月1日から、ファイルの内容やバッチジョブの実行結果等をファクシミリ装置に出力するFAXコマンドは、局線だけでなく九州大学内線に接続されたファクシミリ装置にも出力できるようになりました。

電話番号の指定方法)

- | | |
|---------------------------|-------|
| 1) 局線の場合 | 局線番号 |
| 2) 九州大学内線(箱崎/六本松/筑紫地区)の場合 | 内線番号 |
| 3) 九州大学内線(病院地区)の場合 | 5内線番号 |

MSPでの使用例)

データセット名 LETTER.TEXT の内容を内線番号 nnnn のファクシミリ装置に、ポートレートモード、セパレータなしで出力する。

READY

FAX LETTER.TEXT TEL(nnnn) PR(PORT) SEP(NO)

UXPでの使用例)

ファイル名 letter.txt の内容を内線番号 nnnn のファクシミリ装置に、ランドスケープモード、セパレータなしで出力する。

kyu-cc% fax @t man. pl -n letter. txt

参考文献

- ・FAXコマンドの機能追加について(MSP, UXP)
九州大学大型計算機センターニュース, No. 488, 1993

(システム管理掛 ダイヤルイン 092-642-2308)

3. 第14回九州大学大型計算機センター計算機科学研究集会講演募集

本センターでは、標記研究集会を下記のように開催します。この研究集会の目的は、センター利用者にとって有益な研究成果あるいは計算機科学への問題提起を含んだ研究の発表と討論の場を提供し、センター利用者と計算機科学の研究者との交流の接点をつくることにより、計算機利用技術の向上を図ろうとするものです。センター利用者の方々の積極的な研究発表をお願いいたします。

日時	平成8年11月26日(火) 10:00~17:00
場所	九州大学国際ホール
応募方法	A4版用紙1枚程度の講演概要をご用意いただき、9月13日(金)までに提出してください。このとき、発表者の氏名・所属・電話番号も明記してください。この講演概要は編集委員会における審査やプログラム検討のために使用するもので、様式は自由です。電子メールでのお申し込みも歓迎いたします。
審査	応募論文は、編集委員会において、本研究集会の趣旨に基づいて審査します。審査結果は、10月上旬までにご連絡いたします。
講演方法	会場にはOHPをご用意します。その他の機器の利用をご希望の方は、事前に下記の連絡先までご相談ください。また、当日は参加者配布用資料を50部ご持参ください。
講演時間	質疑応答を含め30分を予定していますが、講演件数によって多少調整することがあります。
論文提出	発表いただいた研究は、九州大学大型計算機センター計算機科学研究報告として、平成9年3月に発行する予定です。このための原稿(カメラ・レディー・フォーム10頁程度)を平成9年1月末ごろまでに提出していただきます。要領は審査結果決定後にお知らせします。
申込み先	九州大学大型計算機センター 天野 浩文 〒812-81 福岡市東区箱崎6-10-1 E-mail: amano@cc.kyushu-u.ac.jp FAX: 092-642-2294 TEL: 092-642-2310

4. 平成8年度（後期）プログラムライブラリ開発計画募集のお知らせ

プログラムライブラリ開発計画募集要領（後述）に基づき、標記開発計画を下記のとおり募集します。多数の応募を歓迎致します。なお、後期分に関しては、センターが繁忙期に入ることから、多数の長大ジョブの実行が必要であると考えられる場合は、原則として来年前期に申請することをお願いします。

記

1. 応募資格 本センター利用有資格者
2. 応募締切 平成8年8月30日（金）
3. 応募手続 所定の申請書に必要事項を記入の上、連絡先まで提出する。
 - 申請書および募集要領は、ライブラリ室に用意してありますので、電話、メール等で請求して下さい。
 - 電子メールによる申請も可能です。下記 e-mail アドレスまで連絡をお願いします。折り返し募集要項、申請書の FORMAT をお送りします。
連絡先： sakai@cc.kyushu-u.ac.jp
研究開発部・境 理恵子 宛
TEL：092-642-2295
4. 対象課題
 - a) 広く各分野で使われる可能性のあるプログラムの開発。
 - b) ある専門分野に限られるが、その分野では広く使われる可能性のあるプログラムの開発。

なお、開発されたプログラムは、なるべく早い時期にセンターのライブラリプログラムとして登録および公開するものとしますが、これら開発に関する事項の詳細については、次項に示す募集要領を参照してください。

プログラムライブラリ開発計画募集要領

1. 対象となる課題
 - a) 広く各分野で使われる可能性のあるプログラムの開発。
 - b) ある専門分野に限られるが、その分野では広く使われる可能性のあるプログラムの開発。
- ただし、次のような課題については原則として認めない。
- i) 一般的な手法が確立されていなくて、研究的性格の強い課題。
 - ii) 他センター等のプログラムの書替え・移植において、その作業が極めて容易であると考えられる課題。
2. 公募は年2回（前期、後期）とする。申請された課題は、締切の翌月のプログラムライブラリ委員会（以下、委員会）で審査する。ただし、開発に際し、多数の長大ジョブの実行が必要であると考えられる場合は、原則として前期に申請し、繁忙期に入る前（11月位）

までに開発を終了するものとする。

前期締切：2月末日（開発開始は 4月1日予定）

後期締切：8月末日（開発開始は10月1日予定）

採用された課題は、センターニュースで広報する。

3. 開発者の義務

- i) 開発終了後、早い時期にプログラムライブラリとして登録および公開するものとする。
- ii) 利用者のための「利用の手引き」を作成する。これを終了報告書として委員会で審議する。
- iii) 開発したプログラムの概要あるいはその使用法をセンター広報に掲載する。

4. 開発に係る経費等

- i) 採用された課題に対して、ライブラリ開発用の登録番号を割当て、それに係る計算機利用負担金は、センターで負担するものとする。計算機利用負担金の限度額は、申請時の計算時間により別に定める。
- ii) 計算機利用負担金以外で開発に必要な旅費、雑費等は、この開発計画による負担の対象とはしないので留意すること。

5. 開発作業

- i) ライブラリ開発は年度毎（4月～翌年3月）とする。開発継続の場合には、十分な資料とともに継続申請書を提出する。
- ii) 開発継続の場合にも、完成した範囲内で登録手続きをとることが望ましい。
- iii) 同一課題での継続は、原則として3年までとする。

6. その他

- i) 申請書に不明な個所があったり、申請計算時間が過大であると思われる場合や、開発経過が不首尾であると考えられる場合は、委員会にて口頭説明を求めることがある。
- ii) サブルーチンまたは関数副プログラムのライブラリの場合、既に登録してあるものと呼び出し名が同一にならないように注意すること。
- iii) オンラインマニュアル（計算機に格納され利用可能なマニュアル）を用意することが望ましい。
- iv) 予算額の上限は100万円とする。

（ライブラリ室 ダイヤルイン 092-642-2295）
e-mail:f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

5. 「利用の手引・TSS編」発行のお知らせ

この度「利用の手引・TSS編」を発行しました。

この利用の手引は、九州大学大型計算機センターのMSPを初めて利用される方のために書かれたものです。基本的なコマンドの使い方、プログラムの編集及び実行方法についてまとめています。ご希望の方は、連絡所を經由して共同利用掛までお申し込みください。

（共同利用掛 ダイヤルイン 092-642-2305）